

第25回地域福祉実践研究セミナーin 沖縄・うらそえ開催要綱

【テーマ】誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して

十人十色の隙間をうめることが地域共生社会さあ～ わかるよねえ～!!

1. 開催趣旨

地域共生社会の実現に向けて、社会福祉法が改正されるなど地域福祉をめぐる大きな転機を迎えている。日本地域福祉研究所は1995年に発足以来、日本各地の地域福祉実践から学び、また研究を通して後押しをしてきた。今日の地域福祉を推進するうねりの一端は、この「地域福祉実践研究セミナー」が創りだしてきた成果でもある。

今回のセミナーの主な舞台となる沖縄県浦添市は、沖縄本島中部に位置し、那覇市のベッタウンとして急激に人口が増加、商工業都市・住宅都市として成長を遂げている。その昔、浦添は琉球王国の首都であったときの王(英祖王)の父親が太陽であったという伝説から、それにちなんで「太陽の子ども」を意味する「てだこ」のまちとも言われている。また、浦添市においては、2005年に「福祉・保健・医療・教育の連携による住民参画型コミュニティソーシャルワークの展開」をテーマに第11回地域福祉実践研究セミナーを開催し、2回目のセミナーの開催となる。その間、地域福祉計画並びに地域福祉活動計画の共通理念・推進テーマでもあるコミュニティソーシャルワークの手法による、地域住民が主体となった地域福祉活動の推進に取り組んできた。

本セミナーは、沖縄県社会福祉協議会をはじめ、浦添市、浦添市社会福祉協議会、市内医療・介護・福祉・教育などの市内関係機関・団体、並びに浦添市近隣の市町村社会福祉協議会などが協働して実行委員会を組織し、日本地域福祉研究所とともに諸準備に取り組んできた。

本セミナーでは、国が「全世代・全対象型地域包括支援体制」の新たな福祉ビジョンとして打ち出した、地域共生社会の実現を目指し、今日的な政策と浦添市や県内市町村で取組まれている先駆的な実践活動、そして裏付けになる研究を重ねて、参加者一人ひとりがともに学び合うセミナーとしたい。

2. 期 日 2019年8月29日(木)～8月31日(土)

3. 会 場 浦添市てだこホール、浦添市社会福祉センター 他

4. 主 催 第25回地域福祉実践研究セミナー実行委員会
特定非営利活動法人日本地域福祉研究所

5. 共 催 浦添市/浦添市社会福祉協議会/浦添市医師会/沖縄県社会福祉協議会/
那覇市/那覇市社会福祉協議会/宜野湾市/宜野湾市社会福祉協議会/
西原町/西原町社会福祉協議会/中部地区社会福祉協議会連絡協議会
(順不同)

6. 後 援 沖縄県/浦添市教育委員会/浦添市ボランティア連絡協議会/バリアフリー
オリンピック実行委員会/沖縄県障がい者ITサポートセンター/沖縄県民生委員
児童委員連絡協議会/琉球大学/沖縄大学/沖縄国際大学/沖縄キリスト教学
院大学/名桜大学/沖縄女子短期大学/沖縄ソーシャルワーク専門学校/浦添
市介護支援専門員連絡会
(順不同)

7. 参加費 一般 6,000 円(学生 2,000 円) 沖縄県内参加者 1,000 円(学生 500 円)

8. 対象者 行政職員、社会福祉協議会役職員、社会福祉法人・NPO法人役職員、
コミュニティソーシャルワーカー、地域福祉活動実践者、民生委員・児童委員、
学校関係者、地域福祉活動に関心のある方

9. プログラム

【1 日目/8月29日(木)13:00～17:30】 全体会 浦添市てだこホール(大ホール)

○受付 12:00～12:50

○開会式 13:00～13:25

【あいさつ】

- ・開会あいさつ 第 25 回地域福祉実践研究セミナー-実行委員会 委員長 上地 武昭
- ・主催者あいさつ 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策
- ・県社協会長あいさつ 社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 会長 湧川 昌秀
- ・市長あいさつ 浦 添 市 (開催地) 市長 松本 哲治
- ・市社協会長あいさつ 社会福祉法人浦添市社会福祉協議会 会長 赤嶺 義雄

○シンポジウム① 13:35～15:40

【テーマ】 地域共生社会における地域包括ケアシステムの構築に向けて

【コーディネーター】 原田 正樹 氏(日本福祉大学副学長)

【シンポジスト】

- ① 浦添市社会福祉協議会 山城 梢子 氏(コミュニティソーシャルワーカー)
- ② 浦添市福祉健康部福祉総務課 久保田 道代 氏(管理係長)
- ③ 浦添市立宮城ヶ原児童センター 池原 千佳子 氏(館長)
- ④ バリアフリーオリンピック実行委員会 友寄 利律子 氏(委員会代表)

○シンポジウム② 15:50～17:30

【テーマ】 地域共生社会は、これからの地域福祉をどう変えるのか？

～ 十人十色の隙間をうめるためのまちづくり ～

【コーディネーター】大橋 謙策 氏(特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 理事長)

【シンポジスト】

- ① 松本 哲治 氏(浦添市長)
- ② 池村 剛 氏(浦添市医師会会長)
- ③ 矢野 恵美 氏(琉球大学法科大学院教授)

○全体情報交換会(てだこホール市民交流室)18:15～20:00

10. 各種イベント

【11:30～16:00 浦添市てだこホール 大ホールロビーなど】

○浦添市内福祉バザーinてだこホール

※浦添市ボランティア連絡協議会(同協議会企画・主催イベント)

○バリアフリーオリンピック活動パネル展

※バリアフリーオリンピック5ヶ年のあゆみパネル展(同実行委員会企画イベント)

【2日目/8月30日(金)10:00～16:30/受付 9:00】

浦添市をはじめ、近隣の那覇市や西原町、宜野湾市などの実践報告者からの取組みなどを発表して頂き、参加者全員で話し合い、共有することを目的にしたワークショップなどを行います。なお、内容や実践者などが変更する場合があります。ご了承ください。

各分科会(ワークショップ)の内容及び会場などについては、下記をご参照ください。

○分科会(ワークショップ)内容

1	テーマ	住民主体の地域包括ケアシステムを地域共生社会の視点で考える。
	会場	西原町中央公民館(大ホール) ※お申込みの後にお送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	・菱沼 幹男 氏(日本社会事業大学福祉計画学科 准教授) ・島村 聡 氏 (沖縄大学人文学部福祉文化学科 准教授)
	実践報告者	・地域共生社会の実現に向けて 西原町役場 (調整中) ・地域福祉推進活動支援助成事業の展開 西原町社会福祉協議会 新崎 寿々香 氏 下地 紋子 氏 ・地域福祉推進会(支え合い委員会)の取り組み 西原町小橋川自治会 自治会長 大城 伸吾 氏 民生委員・児童委員 有田 恵子 氏 ・地域見守り活動の取り組み BeNITY 合同会社リハプライド 寄川 孝之 氏
	内容	誰もが支え合う地域共生社会の実現に向けて、行政から構想案や現状と課題を提起し、その実現に向けて推し進める社協の仕掛けづくり、地域住民(自治会)、団体、企業などの支え合いや見守り、社会貢献活動などの実践活動を報告していただき、町全体のつながりをイメージしていただきます。また、「住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせる」町づくりに向けてグループワークと通し、更なる活動の充実に向けて、意見を提供してもらいます。 実践報告から課題解決に向けて意見を出してもらおう事で、よりよい地域包括ケアシステムづくりについてみんなで考えていきましょう。 【キーワード】 地域課題の発掘 住民主体の地域づくり 支え合うための仕組みづくり
情報交換会 ・交流会	沖縄式バーベキューを体験していただきます。参加の際の服装は、かりゆしウェアのようなラフな格好とし、ネクタイは禁止！とします。 ワークショップ会場から車で 10 分程度の場所にある、「西原マリンパーク」に場所を移動(バス送迎)し、爽やかな海風にあたりながら、沖縄のオリオンビールを片手に、美味しい牛肉やあぐ一豚をご堪能いただきます。また、三線(さんしん)の音色に酔いしれながら、第1分科会の参加者同士の交流を深め、明日への活力とします。	

※分科会①会場周辺には、昼食(お弁当等)の購入できるコンビニやお食事処等がございません。セミナー申込の際にご希望(1,000 円/お飲物込み)されるか、各自事前にお弁当等をご購入のうえご参加方下さいますようお願いいたします。

2	テーマ	「浦添市の性の多様性の尊重」 ～性の多様性に関する理解と性的マイノリティへの支援を 地域共生社会の視点で考える～
	会場	浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター ホール ※お申込みの後にお送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	・原田 正樹氏(日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授) ・加藤 慶氏(沖縄大学人文学部福祉文化学科助教) ・矢野 恵美氏(琉球大学法科大学院教授)
	実践報告者	調整中
	内容	性的マイノリティの人々が社会で直面する困りごとの多くは、実は本人達の問題ではありません。法制度の不備や、社会の態度等、外的なことが原因なのです。つまり性的マジョリティ側の問題なのです。 そこで、本分科会では、まず午前中に性的マイノリティの人々をめぐる法制度の状況、福祉の分野における性的マイノリティ支援の位置づけ、世界の動向等を紹介し、情報を共有します。 午後は、実際に直面する困りごとに関する実際の事例を、学校、職場、家庭等の場面に分けて挙げ、グループに分かれて、どのような支援ができるかを議論して頂きます。
情報交換会 ・交流会	場所：浦添市てだこホール市民交流室(分科会②④⑤合同) ○沖縄風オードブル、中味汁&沖縄そば 他 ○浦添市前田ユブシが丘児童センターの演劇鑑賞&交流会 ※オキナワンおもてなしを予定	

※分科会②会場周辺には、お食事処が少なく、また大変混み合うことが予想されます。コンビニ等もございません。セミナー申込の際にご希望(1,000円/飲物込)されるか、各自事前にお弁当等をご購入のうえご参加方下さいますようお願いいたします。

3	テーマ	離島県・亜熱帯・沖縄の現状から考える ～自分事として考える防災～
	会場	宜野湾市社会福祉センター 2階ホール ※お申込みの後に送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	・宮城 孝 氏(法政大学 現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授) ・稲垣 暁 氏(NPO法人ちゅらゆい/沖縄国際大学 特別研究員)
	実践報告者	・宜野湾市伊佐区自治会 自治会長 宮城 奈々子 氏 ・株式会社FMぎのわん 代表取締役社長 山内 一郎 氏 ・障がい福祉サービス事業所 はごろも支援課長 安富祖 貴哉 氏
	内容	<p>沖縄県では、琉球海溝や沖縄トラフでの地震が発生した際、沿岸部で甚大な被害が想定されるほか、本島から先島まで各地に存在する断層が震度7の地震を引き起こす可能性が指摘されています。また離島県であり、被災時に他県からの速やかな支援が望めず、自己完結が求められます。防災意識が低いといわれる沖縄で災害をどう「自分事」として考えるのか、沖縄の現状を踏まえ参加者全員で向き合う機会を持ちます。</p> <p>【キーワード】</p> <p>防災学習・避難訓練を通しての住民参画 離島県・亜熱帯県・高密度社会としての課題 地域社会をエンパワメントするコミュニティラジオ「避難しない」という心理</p>
情報交換会 ・交流会	場所:宜野湾市社会福祉センター 2階ホール	

※分科会③会場周辺には、大型スーパーやコンビニ、お食事処はございますが、大変混み合うことが予想されますので、セミナー申込の際にご希望(1,000円/飲物込)されるか、各自事前にお弁当等をご購入のうえご参加方下さいますようお願いいたします。

4	テーマ	あなたの中のバリアは何ですか？ ～各専門職の領域を超えてつながる～
	会場	浦添市てだこホール市民交流室 ※お申込みの後に送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	・神山 裕美 氏(大正大学 人間学部社会福祉学科 教授) ・宮城 恵子 氏(社会医療法人 仁愛会 看護部顧問 名嘉村クリニック教育担当)
	実践報告者	・浦添市社会福祉協議会 港川中学校区コミュニティソーシャルワーカー 仲嶺 茜 氏 ・浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー 連携コーディネーター (調整中) ・浦添市地域包括支援センターみなとん 名嘉 健二 氏 ・バリアフリーオリンピック実行委員会 田中 宏樹 氏 ・医療介護ネットワーク2025 (調整中) ・うらそえし介護福祉士会 与那覇 涼 氏 ・浦添市前田ユブシが丘児童センター (調整中)
	内容	全国各地で地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが実践されています。全国的にも自治会への加入率低下が課題となっているところですが、我が浦添市でも同様に自治会加入率が20%台と地域のつながりが稀薄になっている現状があります。 沖縄の先人たちが築いてきた「ゆいまーる(助け合い)精神」を現代風にリノベーションし、多職種連携の視点から新しい地域の形を考えてみたいと思います。 当分科会では、医療と介護・福祉の専門職同士のネットワークをどう構築するか、連携における課題は何なのかを考察しながら、各分野で実践・活躍している皆さんの講演をもとに、「ワールドカフェ」という手法で参加者皆さんの課題や意見を共有し、明日からの地域づくり構築に向けた仲間づくりや元気をもらう場となるような分科会を考えています。 【 キーワード 】 みんなでバリアフリー 継続は力なり つながるコツ 子供からシニアまで(丸ごと、我がごと)
情報交換会 ・交流会	場所:浦添市てだこホール市民交流室(分科会②④⑤合同) ○沖縄風オードブル、中味汁&沖縄そば 他 ○浦添市前田ユブシが丘児童センターの演劇鑑賞&交流会 ※オキナワンおもてなしを予定	

※分科会④会場周辺には、お食事処が少なく、また大変混み合うことが予想されます。コンビニ等もございません。セミナー申込の際にご希望(1,000円/飲物込)されるか、各自事前にお弁当等をご購入のうえご参加方下さいますようお願いいたします。

5	テーマ	生活困窮や子どもの貧困問題を地域共生社会の視点で考える
	会場	浦添市社会福祉センター(3階大研修室) ※お申込みの後にお送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	・中島 修 氏(文京学院大学 人間学部人間福祉学科 准教授) ・本村 真 氏(琉球大学 人間学科 教授) ・砂川 恵子氏(名桜大学 人間健康部スポーツ健康学科 助教)
	実践報告者	・一般社団法人 まちづくりうらそえ 「子供の貧困対策における児童センターの可能性」(調整中) ・浦添市「子供の貧困対策とCSWの連携」(調整中) ・浦添市社会福祉協議会 自立サポートセンターてだこ未来 「生活困窮者の自立支援の課題」 係長 照屋 明子氏
	内容	<p>子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることがないよう、貧困の状態にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るために子どもの貧困対策の推進に関する法律が平成26年1月に施行されました。</p> <p>沖縄県においては平成28年度より「沖縄子供の貧困緊急対策事業」として、支援員の配置事業や子供の居場所づくり事業が展開されている。同事業を振り返りながら、浦添市における生活困窮や子どもの貧困問題の現状や課題について、実践報告を踏まえ課題解決に向けて一緒に考えましょう。</p> <p>【キーワード】</p> <p>保護者の雇用問題(非正規率) 子どもの進学率 若年妊婦への支援 教育と福祉の連携 離婚率(ひとり親家庭への支援) 地域の見守りとネットワークの形成</p>
情報交換会 ・交流会	<p>場所:浦添市てだこホール市民交流室(分科会②④⑤合同)</p> <p>○沖縄風オードブル、中味汁&沖縄そば 他</p> <p>○浦添市前田ユブシが丘児童センターの演劇鑑賞&交流会</p> <p>※オキナワンおもてなしを予定</p>	

※分科会⑤会場周辺には、お食事処が少なく、また大変混み合うことが予想されます。コンビニ等もございません。セミナー申込の際にご希望(1,000円/飲物込)されるか、各自事前にお弁当等をご購入のうえご参加方下さいますようお願いいたします。

6	テーマ	障がいのある人の意思決定支援による権利擁護を地域共生社会の視点で考える
	会場	沖縄県総合福祉センター(403 研修室) ※お申込みの後に送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	・菊池 達美 氏(社会福祉法人同愛会 理事長) ・岩田 直子 氏(沖縄国際大学 総合文化学部 教授) ・田中 英樹 氏(特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 副理事長)
	報告者	・NPO 法人おきなわ障がい者相談支援ネットワーク 溝口 哲哉 氏 実践報告:「沖縄版意思決定支援ガイドライン案」について ・おきなわふくしオンブズマン(調整中) 実践報告:利用者の声に寄り添うことで見えてくる意思決定支援 ・ゆいまーる法律事務所 弁護士 寺田 明弘 氏 実績報告:福祉と弁護士との連携から見えてくる意思決定支援
	内容	障がい者(児)の社会参加が確保され、地域でいきいきとした自分らしい暮らしをどのように選択したらよいのか、また、意思決定の支援に配慮した権利擁護の方向性などの課題解決の糸口を探るために、「円卓会議方式」による支援者、当事者の実践報告及び話題提供、そして、分科会参加者全体で考えるセッションをします。 参加者がセッションに集中するためにファシリテーショングラフィックによる板書記録によって振り返り共有もします。 【キーワード】 自分らしい暮らしの選択 当事者の声に寄り添う 合理的配慮 福祉と司法の連携 意思決定支援ガイドライン
情報交換会 ・交流会	場所:沖縄県総合福祉センターゆいほーる(分科会 6・7 合同)	

※分科会⑥会場周辺には、お食事処やコンビニ等はございますが、大変混み合うことが予想されますので、セミナー申込の際にご希望(1,000 円/飲物込)されるか、各自事前にお弁当等をご購入のうえご参加下さいますようお願いいたします。

7	テーマ	地域共生社会を推進する社会福祉法人等の組織・運営について考える
	会場	沖縄県総合福祉センター西棟 4階 5.6.7 会議室 ※お申込みの後にお送りする「参加証」をご覧ください。
	アドバイザー	・青山 登志夫 氏(静岡福祉大学社会福祉学部福祉心理学科特任教授) ・山内 良章 氏(社会福祉法人沖縄県共同募金会 常務理事) ・幸地 啓子 氏(EY 税理士法人沖縄事務所 所長)
	実践報告者	・社会福祉法人糸満市社会福祉協議会 前事務局長 玉城 満 氏 ・有限会社ケアセンターきらめき代表取締役 渡慶次 憲 氏 ・沖縄県社会福祉法人経営者協議会 (調整中)
	内容	地域共生社会を推進する社会福祉法人等(社会福祉協議会、福祉サービス事業所、福祉施設を経営する社会福祉法人)の実践について学ぶとともに、その基盤となる組織体制や人材育成の強化の取り組みについて一緒に考えましょう。 【キーワード】 組織体制の強化 人材育成の強化 地域における公益的な取り組みの強化
情報交換会 ・交流会	場所: 沖縄県総合福祉センターゆいぽーる(分科会 6・7 合同)	

※分科会⑥会場周辺には、お食事処やコンビニ等はございますが、大変混み合うことが予想されますので、セミナー申込の際にご希望(1,000 円/飲物込)されるか、各自事前にお弁当等をご購入のうえご参加下さいますようお願いいたします。

【3日目/8月31日(土)9:30～12:15/受付 9:00】 うらそえてだこ小ホール

○ワークショップ(分科会)報告 9:30～10:50

・総合司会 田中 英樹氏(特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 副理事長)

○総括講演 10:50～12:00

・大橋 謙策氏(特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 理事長)

○閉会式 12:00～12:15

・次期開催地(岩手県花巻市) あいさつ

・閉会 あいさつ

11. お申込み・お問い合わせ先

○参加費 一般 6,000 円(学生 2,000 円)

※沖縄県内参加者 1,000 円(学生 500 円)

※なお、1日目のシンポジウム①、②については参加無料

○その他(ご希望者)

・1日目 情報交換会 4,000 円

・2日目 昼食(お弁当/飲み物) 1,000 円

・分科会交流会 3,000 円

○申込先 名鉄観光沖縄支店

〒900-0032 沖縄県那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル2F

TEL098-862-8211 Fax098-862-8212

※別紙「参加申込書」、「情報交換会・宿泊等のご案内」をご参照ください。

○申込締切 2019年 6月 28日(金)

○お問合せ先 第25回地域福祉実践研究セミナー実行委員会

(社会福祉法人浦添市社会福祉協議会内)

〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-10-7

TEL098-877-8226 Fax098-875-1613(担当 池原・中本・小濱)

E-mail u-shakyo@urasoeshakyo.org